



RemoFax(リモファ)

マニュアル

SHARP

(MX-5140FN)

2023-12-19 更新



## 内容

|                   |    |
|-------------------|----|
| RemoFax について..... | 2  |
| 転送設定.....         | 5  |
| 通信設定.....         | 13 |
| ファイル形式の変更.....    | 20 |



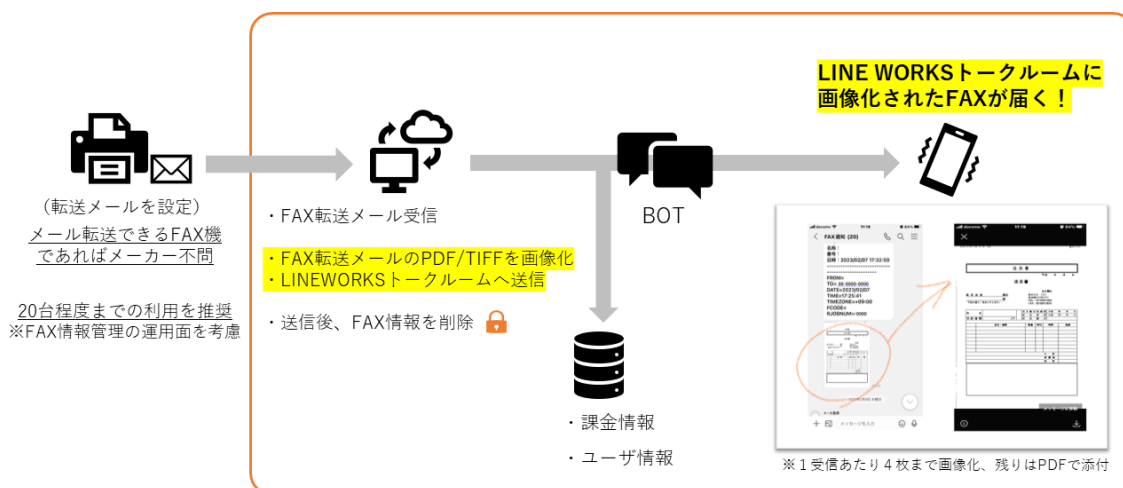
## RemoFax について

RemoFax（リモファ）は受信した FAX メールを画像化した後、LINEWORKS のトークルームで閲覧ができるようになるアプリケーションです。

メール転送できる FAX 機であれば、どのメーカーでも対応しております。

お客様のご使用される FAX 機をお調べのうえ、設定を進めて下さい。

受信したFAXメールを画像化 ⇒ LINE WORKSのトークルームで閲覧



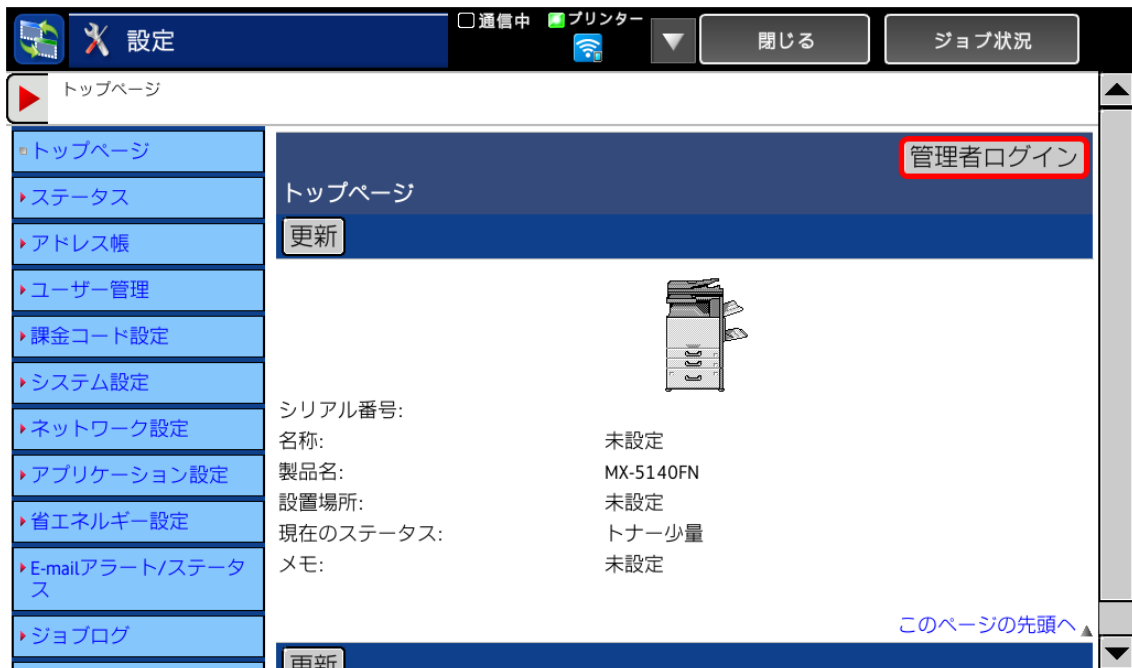


参考例として SHARP の MX-5140FN で設定を行います。

ホーム画面の[設定]を押します。



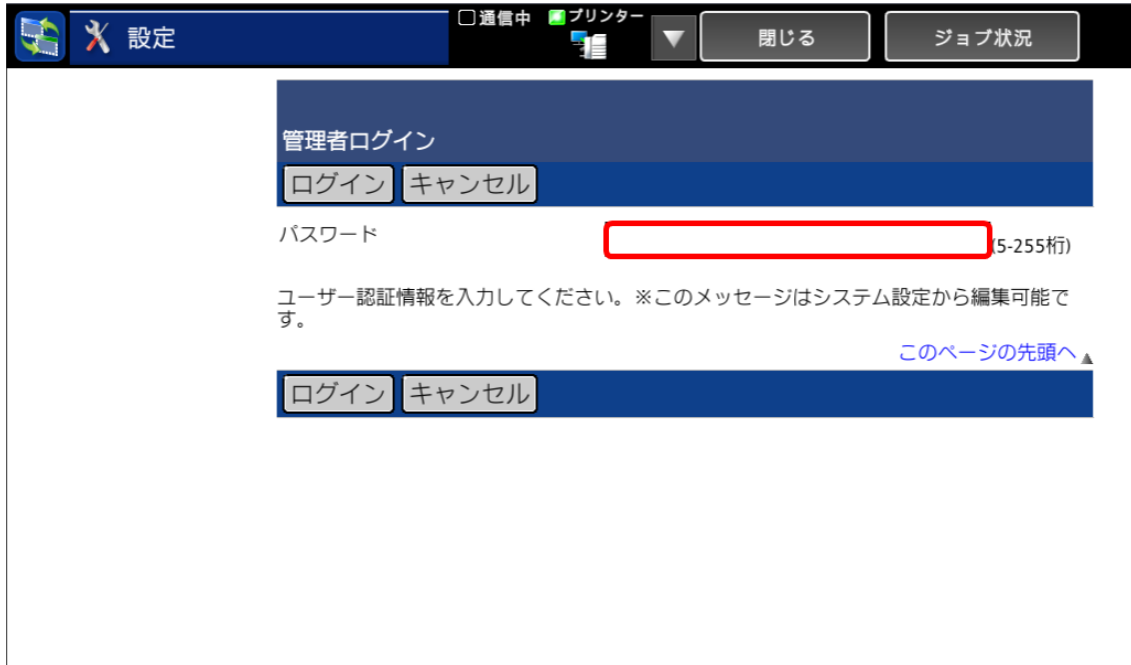
[管理者ログイン]を押します。



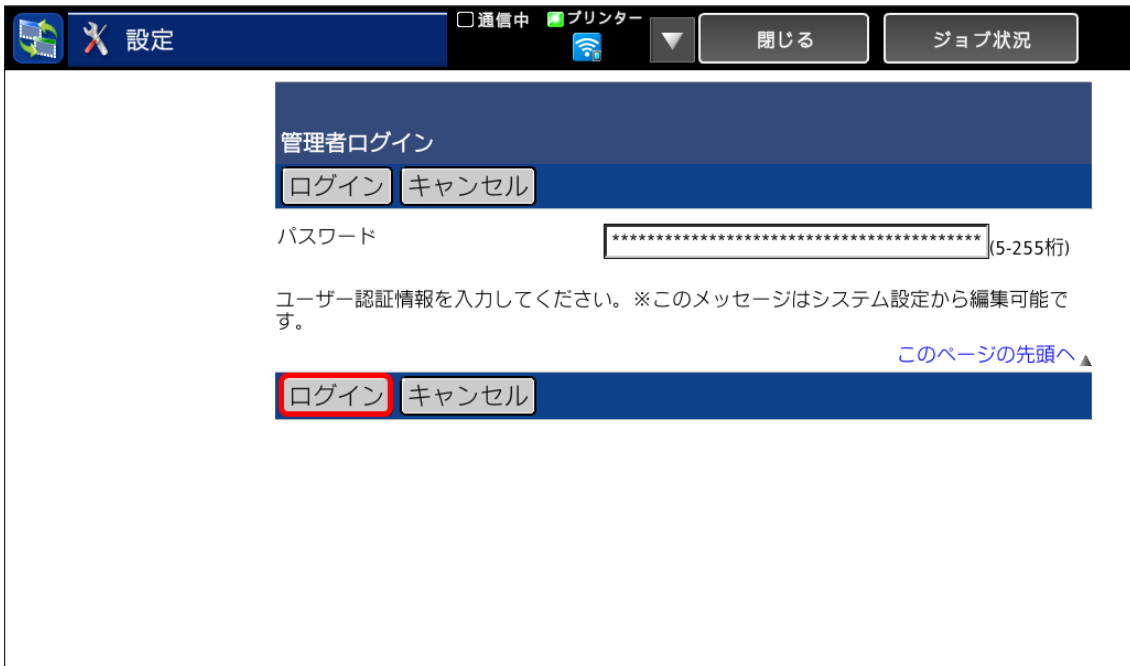


管理者パスワードを入力します。

※管理者パスワードはお客様で保管されているパスワードをご使用ください。

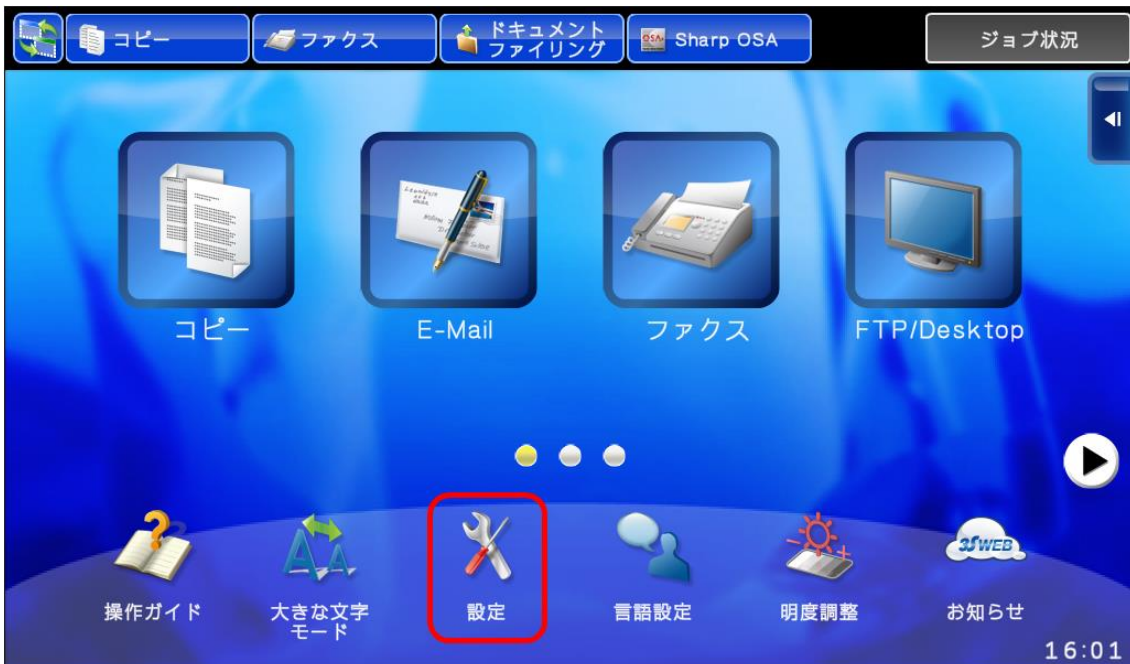


[ログイン]を押します。



## 転送設定

ホーム画面の[設定]を押します。



[アプリケーション設定]を押します。



この画面は、RemoFaxの管理画面の「設定」メニューから「アプリケーション設定」を選択した状態を示しています。左側のメニューで「アプリケーション設定」が赤い枠で囲まれています。右側のメイン画面には「トップページ」の情報が表示されており、「更新」ボタンが複数箇所に見えます。また、「管理者ログイン」ボタンも表示されています。

|           |           |
|-----------|-----------|
| シリアル番号:   |           |
| 名称:       | 未設定       |
| 製品名:      | MX-5140FN |
| 設置場所:     | 未設定       |
| 現在のステータス: | トナー少量     |
| メモ:       | 未設定       |

[受信データの転送設定]を押します。



この画面は、RemoFaxの管理画面の「設定」メニューから「アプリケーション設定」>「印字メニュー設定」>「印字メニューの文字設定」を選択した状態を示しています。左側のメニューで「受信データの転送設定」が赤い枠で囲まれています。右側のメイン画面には「未設定」のテキストと「全選択」「選択解除」のボタンが表示されています。また、「削除」「追加」のボタンも表示されています。

転送する受信データをあらかじめ「転送テーブル」として登録します。

[追加]を押します。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定

管理者ログイン

受信データの転送設定

登録 更新

受信データの転送設定: 無効

表示件数: 10

| 転送テーブル名 ▲ ▼ | 転送条件 |
|-------------|------|
| 未設定         |      |

総テーブル数: 0

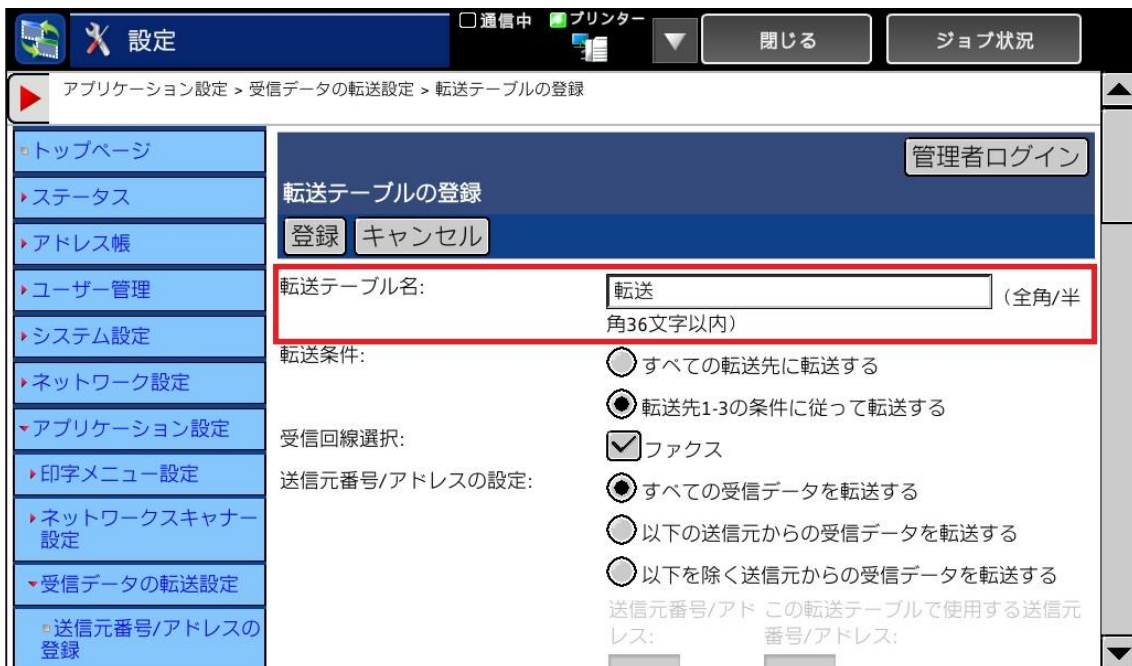
前を表示 0 / 0 次を表示

全選択 選択解除

削除 **追加**

このページの先頭へ ▲ ▼

[転送テーブル名]を任意で入力します。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定 > 転送テーブルの登録

管理者ログイン

転送テーブルの登録

登録 キャンセル

転送テーブル名: 転送 (全角/半角36文字以内)

転送条件:

- すべての転送先に転送する
- 転送先1-3の条件に従って転送する

受信回線選択:

- ファクス

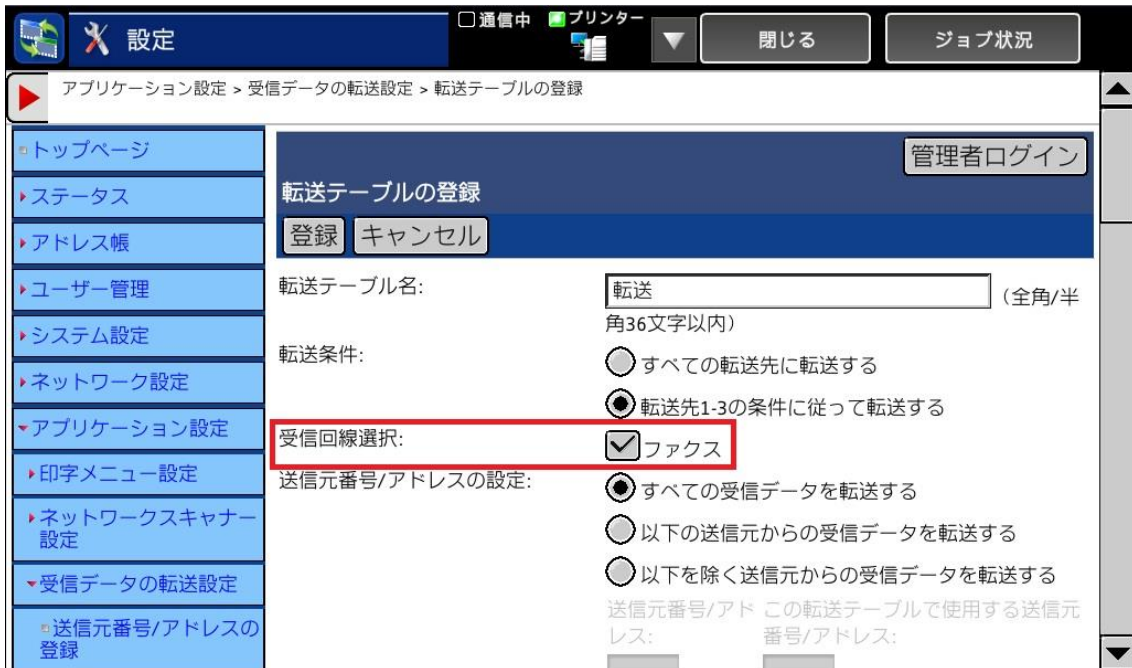
送信元番号/アドレスの設定:

- すべての受信データを転送する
- 以下の送信元からの受信データを転送する
- 以下を除く送信元からの受信データを転送する

送信元番号/アド この転送テーブルで使用する送信元  
レス: 番号/アドレス:



受信回線選択のファックスにチェックを入れます。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定 > 転送テーブルの登録

設定 | 通信中 | プリンター | 閉じる | ジョブ状況

トップページ | ステータス | アドレス帳 | ユーザー管理 | システム設定 | ネットワーク設定 | **アプリケーション設定** | 印字メニュー設定 | ネットワークスキャナー設定 | 受信データの転送設定 | 送信元番号/アドレスの登録

転送テーブルの登録 管理者ログイン

登録 | キャンセル

転送テーブル名:  (全角/半角36文字以内)

転送条件:

- すべての転送先に転送する
- 転送先1-3の条件に従って転送する

**受信回線選択:  ファックス**

送信元番号/アドレスの設定:

- すべての受信データを転送する
- 以下の送信元からの受信データを転送する
- 以下を除く送信元からの受信データを転送する

送信元番号/アド | この転送テーブルで使用する送信元 | 番号/アドレ | 番号/アドレ:

転送先 1 の転送条件で[常に転送する]を押します。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定 > 転送テーブルの登録

設定 | 通信中 | プリンター | 閉じる | ジョブ状況

USBドライバー設定 | E-mailプリント設定 | 本体からのプリント設定 (FTP) | 本体からのプリント設定 (共有フォルダー) | PCからのプリント設定 | 省エネルギー設定 | E-mailアラート/ステータス | ジョブログ | セキュリティ設定

シングルスクリーンモードへ切り替え

転送先1 | 転送先2 | 転送先3

転送先1

転送条件:

- 転送しない
- 常に転送する**
- 設定日時で転送する

曜日:

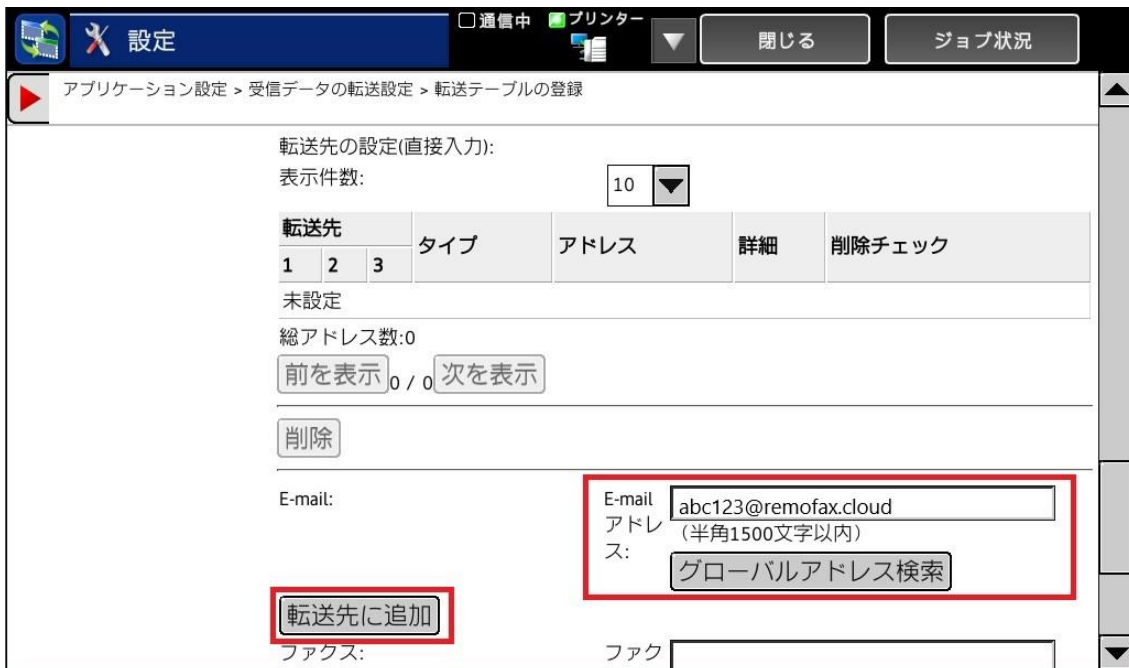
- 月曜日
- 火曜日
- 水曜日
- 木曜日
- 金曜日
- 土曜日
- 日曜日

転送時刻を設定する

開始時刻:  時  分

終了時刻:  時  分

スクロールし、[転送先に追加]から E-mail アドレスを入力します。



転送先の設定(直接入力):  
表示件数: 10 ▼

| 1   | 2 | 3 | タイプ | アドレス | 詳細 | 削除チェック |
|-----|---|---|-----|------|----|--------|
| 未設定 |   |   |     |      |    |        |

総アドレス数:0  
前を表示 0 / 0 次を表示

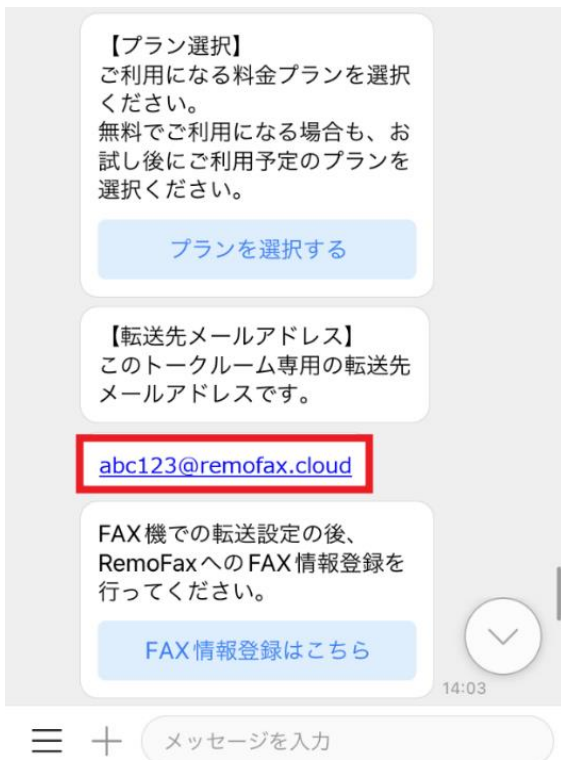
削除

E-mail:   
E-mail アドレス (半角1500文字以内)  
グローバルアドレス検索

**転送先に追加**

ファクス:

アドレスは複数トークルームに Bot の RemoFax を招待した際に自動送信されたアドレスを入力して下さい。



**【プラン選択】**  
ご利用になる料金プランを選択ください。  
無料でご利用になる場合も、お試し後にご利用予定のプランを選択ください。

[プランを選択する](#)

**【転送先メールアドレス】**  
このトークルーム専用の転送先メールアドレスです。

**abc123@remofax.cloud**

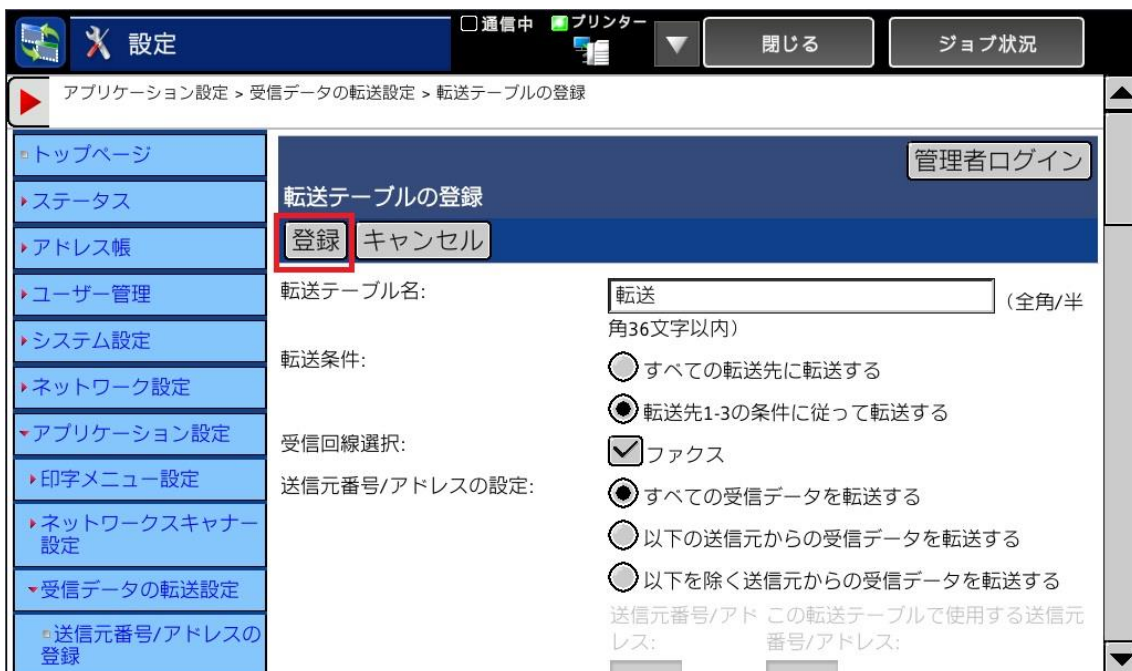
FAX 機での転送設定の後、RemoFax への FAX 情報登録を行ってください。

[FAX 情報登録はこちら](#)

14:03

メッセージを入力

入力が完了したら[登録]を押します。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定 > 転送テーブルの登録

管理者ログイン

登録 キャンセル

転送テーブル名:  (全角/半角36文字以内)

転送条件:

- すべての転送先に転送する
- 転送先1-3の条件に従って転送する

受信回線選択:

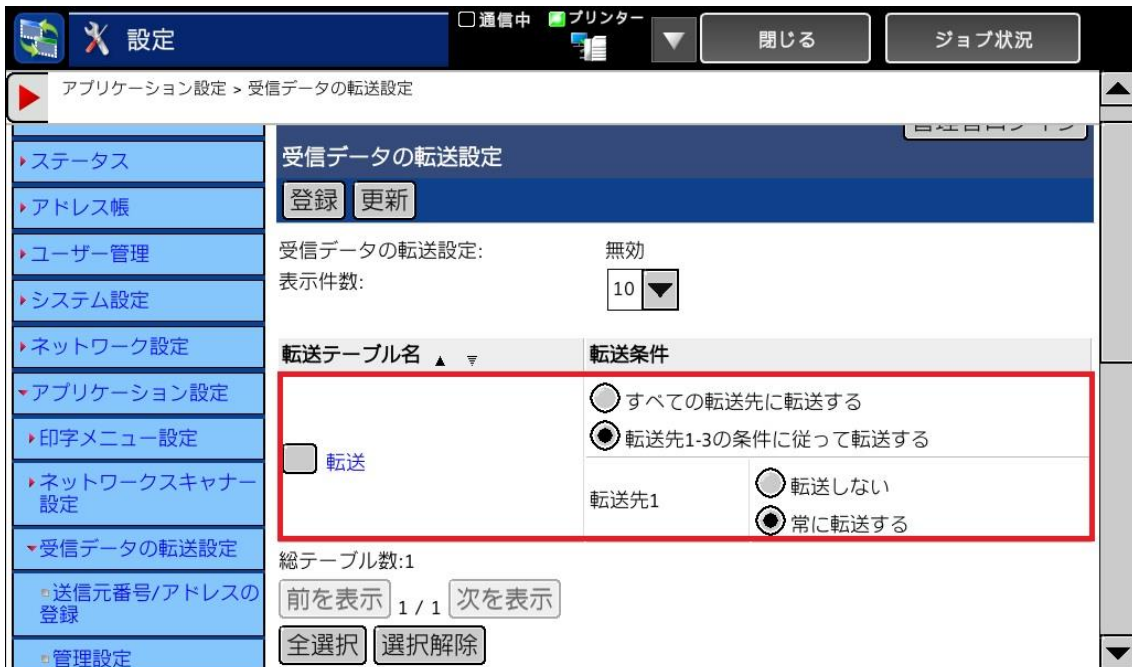
- ファクス

送信元番号/アドレスの設定:

- すべての受信データを転送する
- 以下の送信元からの受信データを転送する
- 以下を除く送信元からの受信データを転送する

送信元番号/アドレ  
送信元番号/アドレ  
番号/アドレス:

登録が完了すると[受信データの転送設定]画面に転送テーブル名が表示されます。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定

登録 更新

受信データの転送設定: 無効

表示件数: 10

| 転送テーブル名                     | 転送条件  |
|-----------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 転送 | <input type="radio"/> すべての転送先に転送する<br><input checked="" type="radio"/> 転送先1-3の条件に従って転送する<br>転送先1 <input type="radio"/> 転送しない<br><input checked="" type="radio"/> 常に転送する |

総テーブル数:1

前を表示 1 / 1 次を表示

全選択 選択解除

次に転送機能を有効にします。

[管理設定]を押してください。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定

受信データの転送設定

登録 更新

受信データの転送設定: 無効

表示件数: 10

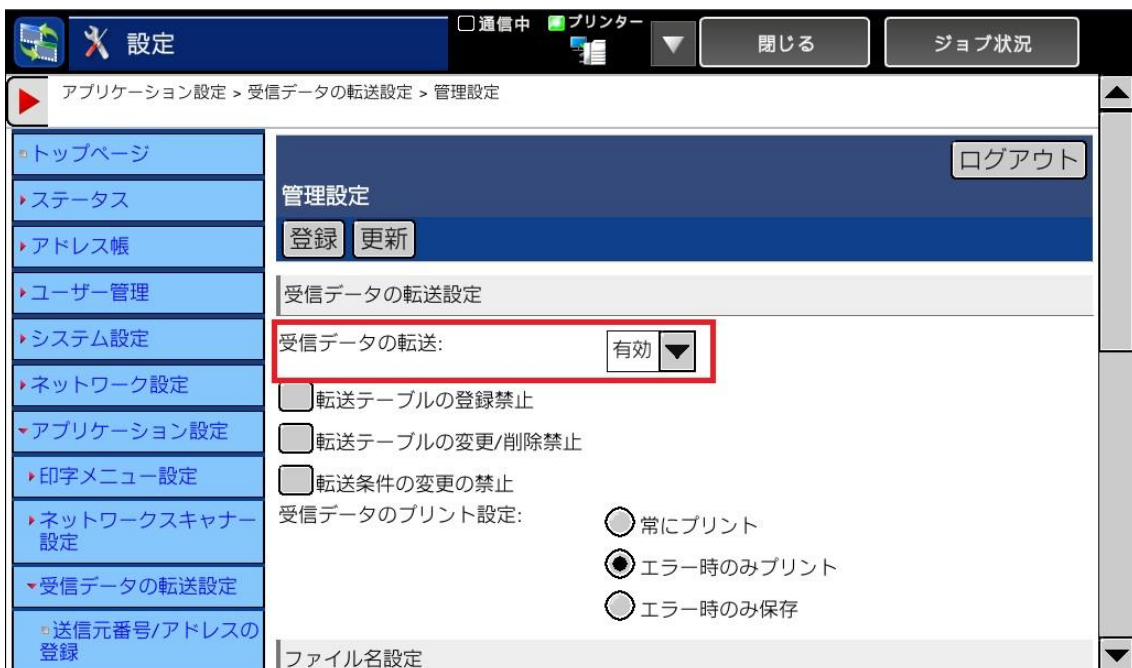
| 転送テーブル名 ▲ ▼                 | 転送条件   |
|-----------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 転送 | <input type="radio"/> すべての転送先に転送する<br><input checked="" type="radio"/> 転送先1-3の条件に従って転送する |
|                             | 転送先1 <input type="radio"/> 転送しない<br><input checked="" type="radio"/> 常に転送する              |

総テーブル数:1

前を表示 1 / 1 次を表示

全選択 選択解除

[受信データの転送]を有効にします。



アプリケーション設定 > 受信データの転送設定 > 管理設定

管理設定

登録 更新

受信データの転送設定

受信データの転送: 有効

転送テーブルの登録禁止

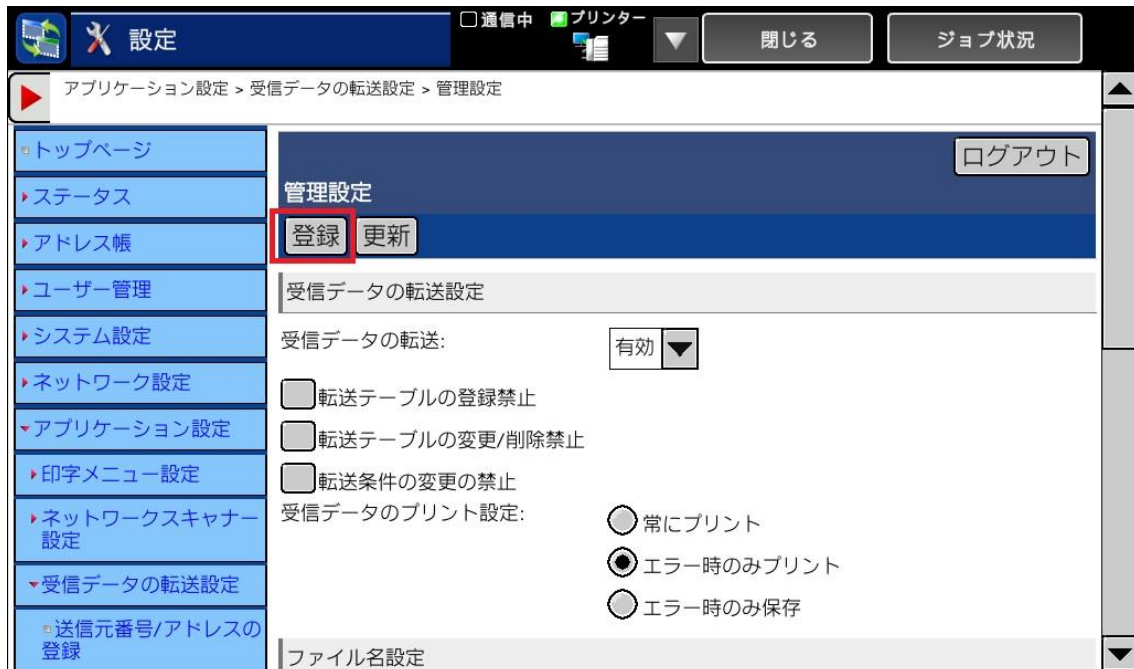
転送テーブルの変更/削除禁止

転送条件の変更の禁止

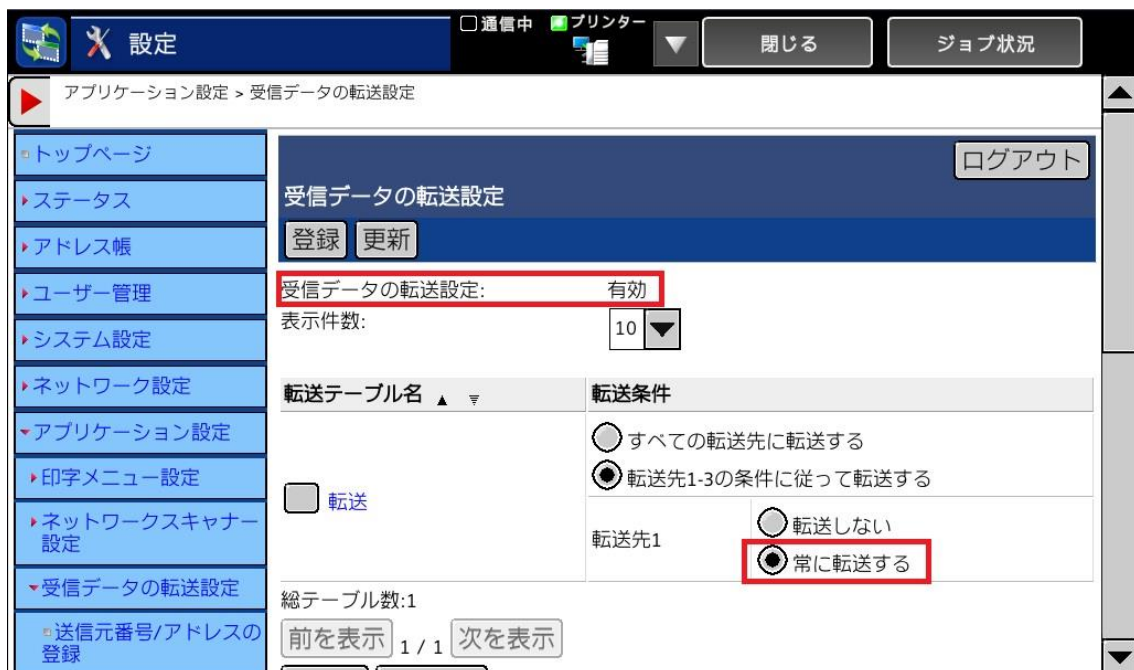
受信データのプリント設定:  常にプリント  
 エラー時のみプリント  
 エラー時のみ保存

ファイル名設定

[登録]を押します。



受信データの転送設定画面で、受信データの転送設定が「有効」になっており、作成した転送テーブルが[常に転送する]が選択状態になっていることを確認してください。



以上で転送設定完了です。

## 通信設定


ホームに戻り、[設定]を押します。



[ネットワーク設定]を押します。



[サービス設定]を押します。



ネットワーク設定 > 簡易設定

トップページ  
ステータス  
アドレス帳  
ユーザー管理  
課金コード設定  
システム設定  
ネットワーク設定  
簡易設定  
全般設定  
プロトコル設定  
**サービス設定**  
プリントポート設定

簡易設定  
更新

複合機をネットワーク接続する際に最低限必要な項目を設定します。

接続タイプ: 有線のみ

※インフラストラクチャーモード選択時、有線接続は無効となります。

登録

IPv4設定

DHCP/BOOTP: 無効

IPv4アドレス: 192.168.11.50

(10.36.124.28)

サブネットマスク: 255.255.255.0

[SMTP]タブを押します。



ネットワーク設定 > サービス設定

トップページ  
ステータス  
アドレス帳  
ユーザー管理  
課金コード設定  
システム設定  
ネットワーク設定  
簡易設定  
全般設定  
プロトコル設定  
サービス設定

サービス設定  
更新

WINS  
SMTP  
SNMP  
BMLinkS  
Kerberos  
SNTP  
mDNS  
DNS

登録

DNS設定

プライマリサーバー: 192.168.11.1

セカンダリサーバー: 192.168.11.2

タイムアウト: 20 秒(0-60)

ドメイン名: xxxxxx.ne.jp (半角64)

SMTP 設定画面が表示されますので、各項目を設定します。



### サービス設定

**更新**

|          |      |      |         |
|----------|------|------|---------|
| WINS     | SMTP | SNMP | BMLinkS |
| Kerberos | SNTP | mDNS | DNS     |

**登録**

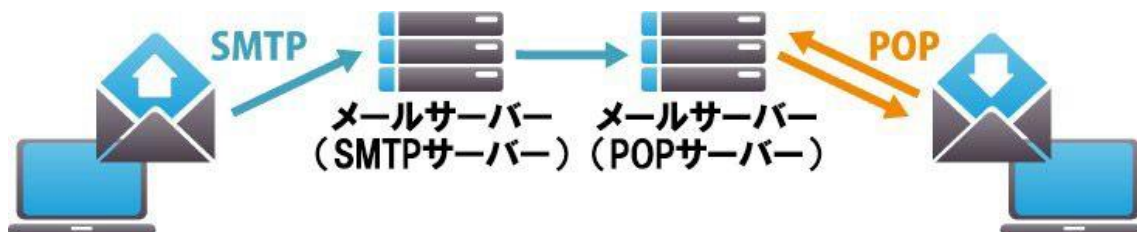
#### SMTP設定

1  (Primary Server)  
 2  (Secondary Server)  
 3  (0-65535) (Port Number)  
 4  秒(0-60) (Timeout)  
 返信アドレス:  (半角64文字以内)  
 SSLを有効にする 5  
 SMTP認証 6  
 ユーザー名:  (半角64文字以内) 7  
 パスワード:  (1-32桁) 8  
 パスワードを変更する



## 補足ポイント

SMTPとは「メールを送信する仕組み」で、POPは「メールを受信する仕組み」のことです。



この設定がなされていないとメールソフトがきちんと機能しません。そのため、お客様のお使いのメールが正常に利用されているのであれば、必ず設定に SMTP と POP/IMAP のサーバ名が記載されています。

Gmail を例に通信設定で必要な項目を確認します。

- ① プライマリーサーバー：SMTP サーバー名を入力します 例) smtp.gmail.com
- ② セカンダリーサーバー：指定がある場合に入力します。
- ③ ポート番号：587
- ④ 送信者アドレス：（例：\*\*\*\*@gmail.com）←転送元アドレス（from）です。
- ⑤ SSL を有効にする：指定がある場合は有効にします。
- ⑥ SMTP 認証：指定がある場合有効にします。
- ⑦ ユーザー名：SMTP 認証が有効時は SMTP サーバーのユーザー名を入力します。例) sharp
- ⑧ パスワード：SMTP 認証が有効時ユーザーのパスワードを入力します。

その他の一般的なメーラー設定は下記のようになります。

（メールソフトによって異なりますので、お客様が使用されているメーラーの設定をご確認下さい。）

| プロバイダ        | アカウント名   | SMTPサーバ(送信)基本情報                                      | POPサーバ(受信)基本情報                                     | IMAPサーバ(受信)基本情報                                    |
|--------------|--|--|--|--|
| iCloud       | ユーザ名：メールアドレス (@icloud.com)<br>パスワード：Appleのパスワード                                    | サーバ：smtp.mail.me.com<br>ポート：587<br>認証：TLS / STARTTLS | 未対応  | サーバ：imap.mail.me.com<br>ポート：993<br>認証：SSL / TLS    |
| Gmail        | ユーザ名：メールアドレス (@gmail.com)<br>パスワード：Gmailのパスワード                                     | サーバ：smtp.gmail.com<br>ポート：587<br>認証：TLS / STARTTLS   | サーバ：pop.gmail.com<br>ポート：995<br>認証：SSL             | サーバ：imap.gmail.com<br>ポート：993<br>認証：SSL            |
| Outlook      | ユーザ名：メールアドレス(@outlook.jp、@outlook.com、@hotmail.com)<br>パスワード：Microsoft アカウントのパスワード | サーバ名：smtp-mail.outlook.com<br>ポート：587<br>認証：STARTTLS | サーバ：<br>outlook.office365.com<br>ポート：995<br>認証：TLS | サーバ：<br>outlook.office365.com<br>ポート：993<br>認証：TLS |
| Yahoo! JAPAN | ユーザ名：メールアドレス(@yahoo.co.jp)<br>パスワード：Yahoo! JAPAN IDのパスワード                          | サーバ名：smtp.mail.yahoo.co.jp<br>ポート：465<br>認証：SSL      | 提供終了   | サーバ：<br>imap.mail.yahoo.co.jp<br>ポート：993<br>認証：TLS |

#### 用語説明

POP：サーバーにあるメールを PC 等の端末にダウンロードして、端末上でメールを管理する仕組み  
(一台でメールを利用する場合が多い)

IMAP：サーバーにあるメールを PC 等の端末にはダウンロードせずサーバー上でメールを管理する仕組み  
(複数台でメールを利用する場合が多い)

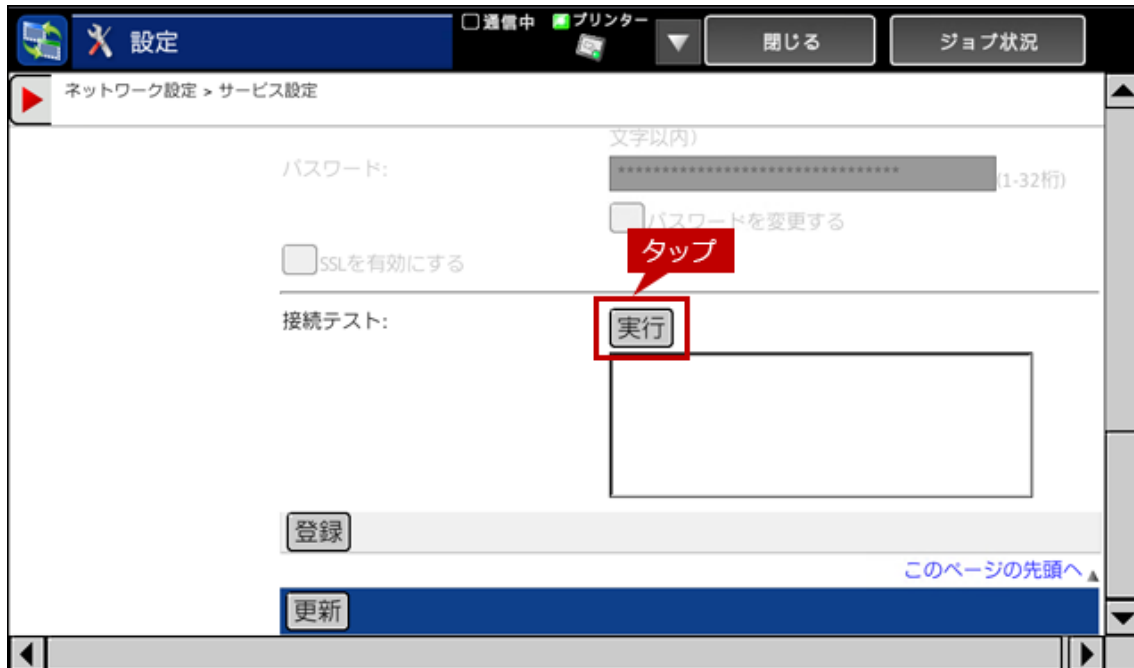
SSL：インターネット上の通信を暗号化する技術

TLS：SSL に脆弱性が発見されたため後継版として開発されたもの

STARTTLS：TLS をメールサーバー向けに特化した技術のこと

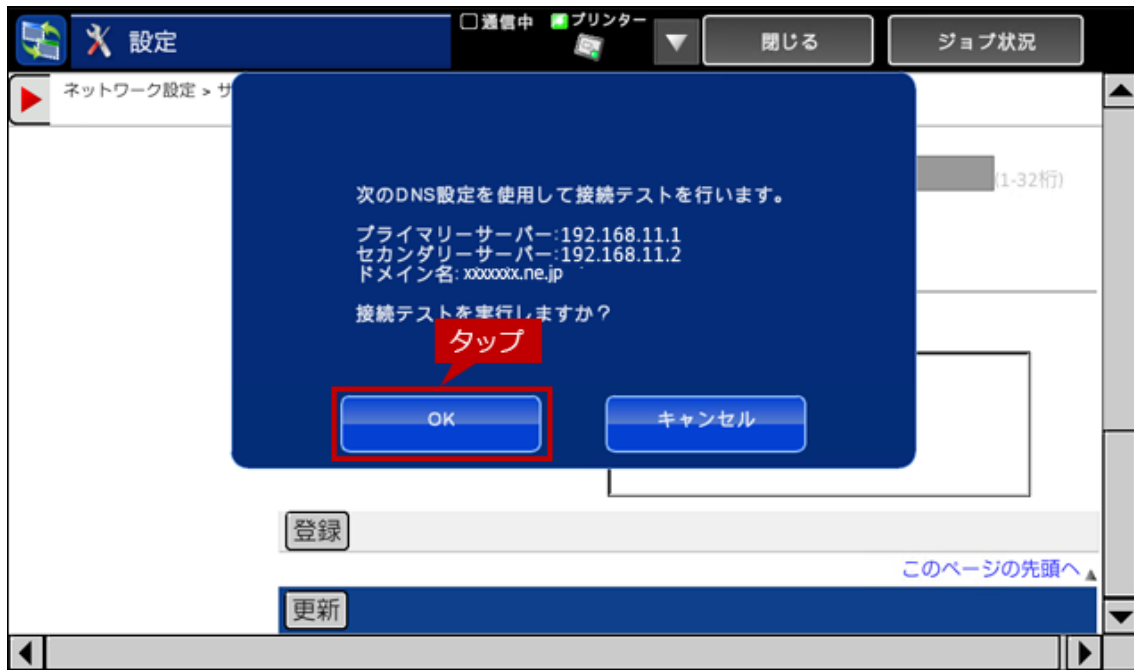
これらを踏まえ、お客様がお使いのメーラー設定をご確認いただき、ご登録をお願いします。

次にページをスクロールし、接続テストの[実行]を押します。



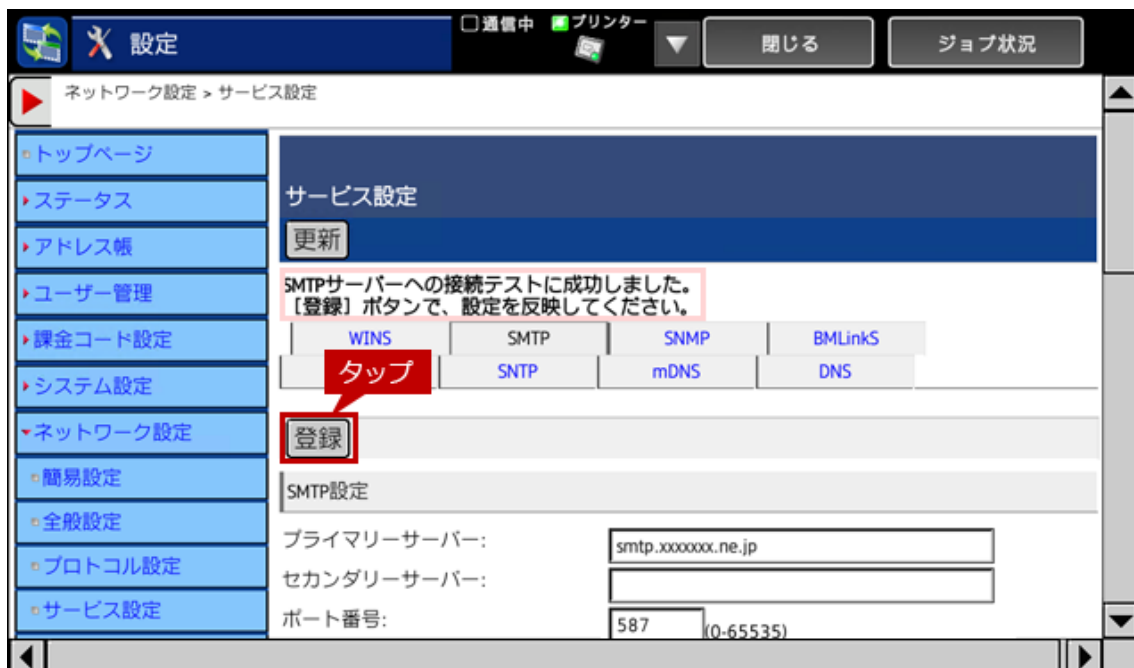
「次の DNS 設定を使用して接続テストを行います。」のダイアログ画面が表示されますので、

[OK]を押します。



接続テストに成功すると、「SMTP サーバーへの接続テストに成功しました。[登録]ボタン

で、設定を反映してください。」と表示されますので、[登録]をタップします。

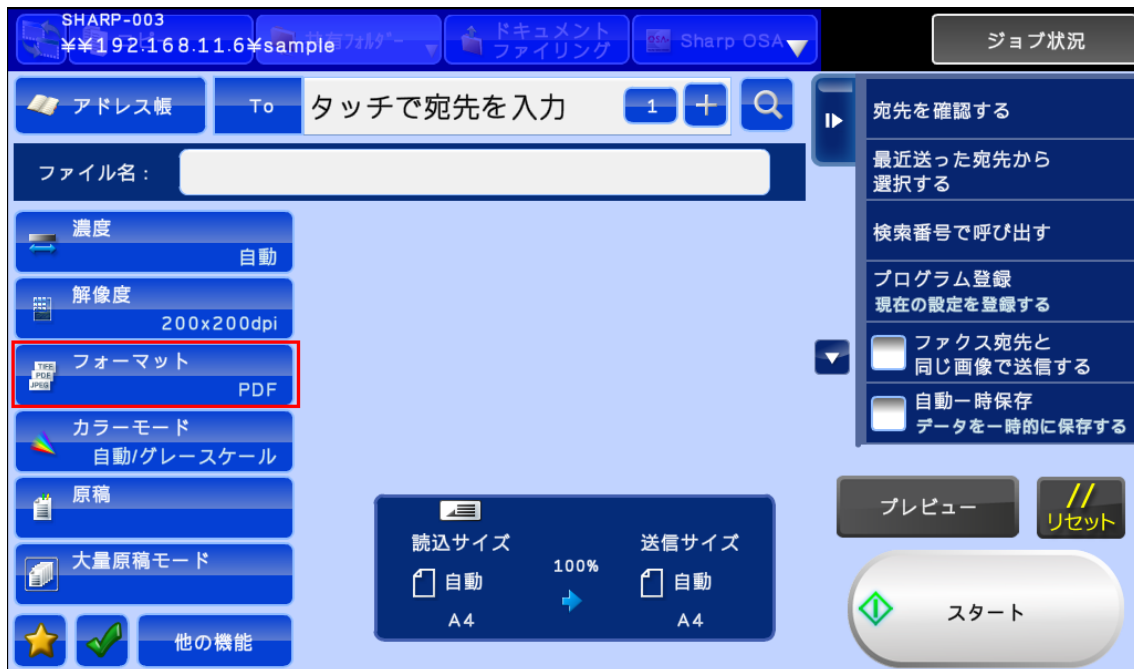


登録が完了すると「正常に処理されました。」と表示されます。

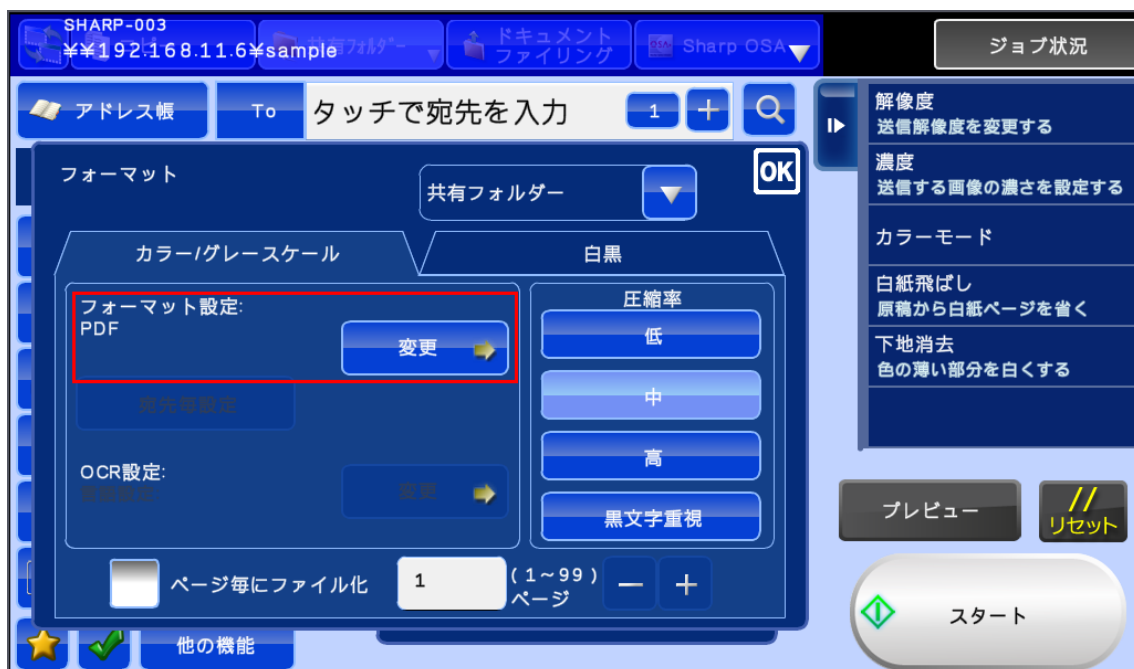


## ファイル形式の変更

[ホーム]>[アドレス帳]>[対象のアドレス名]に移動します。[フォーマット]を押すと形式を変更できます。



[フォーマット設定]を[PDF]に変更できます。



以上でファイル形式の変更完了です。